

インフラ整備70年 講演会(第17回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

「東名高速道路の建設

—日本の高速道路ネットワーク建設の礎を造る—

<講演プログラム>

1. 路線概要
2. 計画の経緯
3. 高速道路ネットワーク整備の起爆剤
4. 計画から開通まで(DVD)
5. 設計:名神から東名へー
6. 建設で目指したもの
7. 東名高速道路の建設から何を学ぶか
8. 開通の効果
9. 時代の変化への対応と未来への飛躍

<講演>

大塚勝美 (元日本道路公団理事)

田村幸久 (元日本道路公団北海道支社長)

藤波 督 (元日本道路公団九州支社長)

宮池克人 (中日本高速道路(株)代表取締役社長)

中島浩昭 (元三井住友建設(株)代表取締役専務取締役)

<構成>

鈴木辰夫 (元東日本高速道路(株)参与)

写真提供; NEXCO中日本 (浜名湖SA付近)

2020年**1月22日** (水)

講演会: 17:30~19:30 (受付開始: 16:30~)

交流会: 19:30~20:30

場所: 政策研究大学院大学 想海樓ホール

定員: 300名

*本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております。

*講演会終了後、軽食による交流会を予定しています。

*会費及び申し込み方法は裏面をご覧ください。

昭和30年代に中央自動車道との着工順序の激しい論争を経て、1965年(昭和40年)に着工された東名高速道路は、東京~小牧市約350kmの全線が、1969年(昭和44年)までに開通した。東名高速道路では、名神高速道路で一部導入された設計思想が全面的に採用され、日本の地形に調和した優美な曲線中心の道路が造り上げられた。また、名神高速道路の維持管理で得られた課題がフィードバックされ、細部に亘ってより安全で走りやすい、まさにメイドインジャパンの高速道路を実現した。さらに、現場での試験施工を基本にして施工方法を決めていく現場中心主義の日本道路公団の技術者マインドも確立され、完成後には、東名高速道路の建設を参考にして、様々な要領が作られた点から、東名高速道路の建設は、その後の高速道路ネットワーク建設の礎を作ったといっても過言ではない。これに加え、東名高速道路の開通後の進化、及び高速道路の目指す姿を紹介する。

主催: (一社) 建設コンサルタンツ協会

後援: (公社) 土木学会

インフラ整備70年講演会(第17回)

「東名高速道路の建設 -日本の高速道路ネットワーク建設の礎を造る-」

《構成・講演者略歴》

大塚勝美 (元日本道路公団 理事)
田村幸久 (元日本道路公団 北海道支社長)
藤波 督 (元日本道路公団 九州支社長)
宮池克人 (中日本高速道路株 代表取締役社長)
中島浩昭 (元三井住友建設株 代表取締役専務取締役)
鈴木辰夫 (元東日本高速道路株 参与)

会 費

【講演会】 学生・75歳以上の方 : 無料
一般の方 : 2,000円
【交流会】 学生・女性の方 : 無料
一般・75歳以上の方 : 2,000円

* 講演会及び交流会会費は、当日、会場受付にて直接お支払いください。

申し込み方法

- お申し込みは、建設コンサルタンツ協会HPより“インフラ整備70年”バナーをクリック頂き、「講演予定」のお申込みページからお願いします。

建設コンサルタンツ協会HP : <https://www.jcca.or.jp/>

(注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
- 参加をキャンセルされる場合は、下記問い合わせ先にメールにてご連絡をお願いします。
- ご提供いただいた個人情報は本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 当日は、講演内容の記録として写真撮影や録画を行います。その写真を建設コンサルタンツ協会ホームページ、広報誌等に掲載させていただくことがございますので、予めご了承ください。

問合せ先

TEL: 03-3239-7994 / E-mail: infra70@jcca.or.jp (担当: 酒井、今井)

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとあって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定>

第18回講演会 2020年2月25日(火) 17:30~19:30 交流会: 19:30~20:30

「長野県の峠を貫くトンネル -安房峠と権兵衛峠-」(仮)

講演者: 谷口博昭、石河真一、松山政雄、西村清亮、池口正晃

場 所: 政策研究大学院大学 想海樓ホール